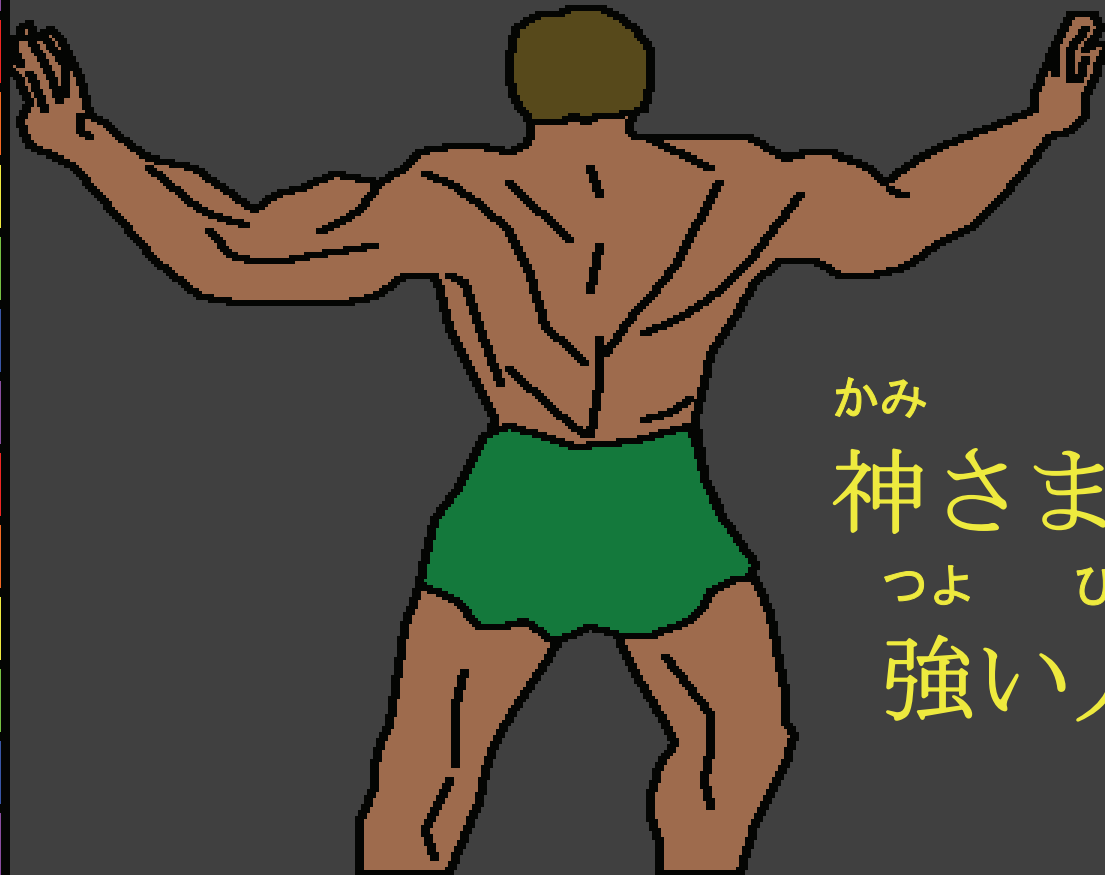


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



かみ

神さまがくださった

つよ ひと

強い人、サムソン



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。

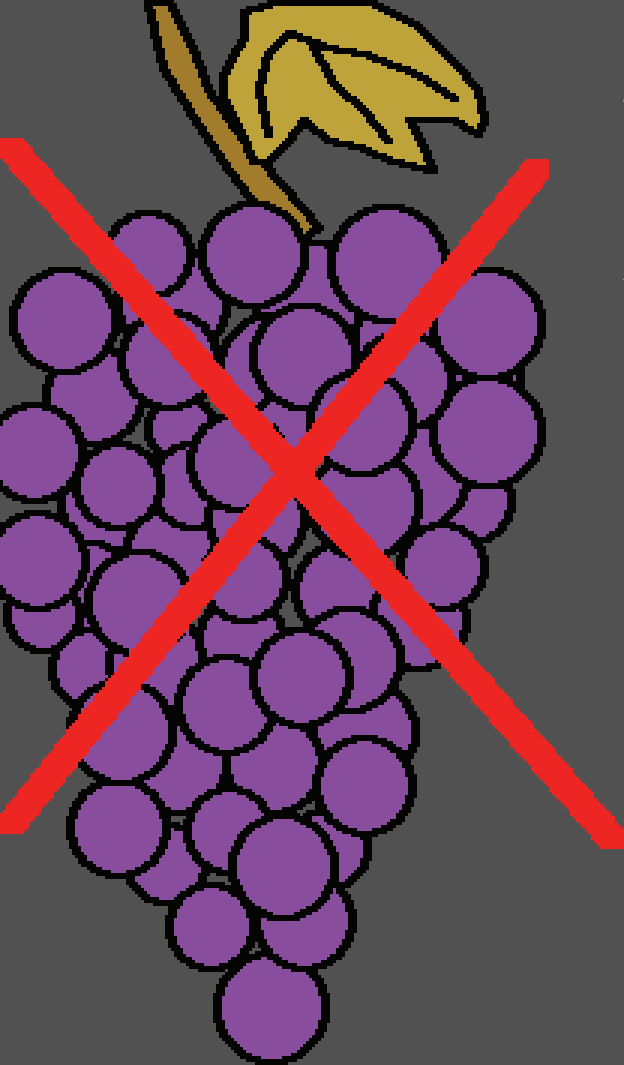


むかし ち ひと す
ずっとずっと昔、イスラエルの地にマノアという人が住んでいました。マノア
とおくさんには、こどもがありません。でもある日のこと、マノアのおくさんの
しゅ つか ひ
ところに、主からの使いがあらわれました。そしてこう言いま
あか う こ
したよ。「あなたに赤ちゃんが生まれるでしょう。その子は、
かみ あか
神さまがくださるとくべつの赤ちゃんですよ。」

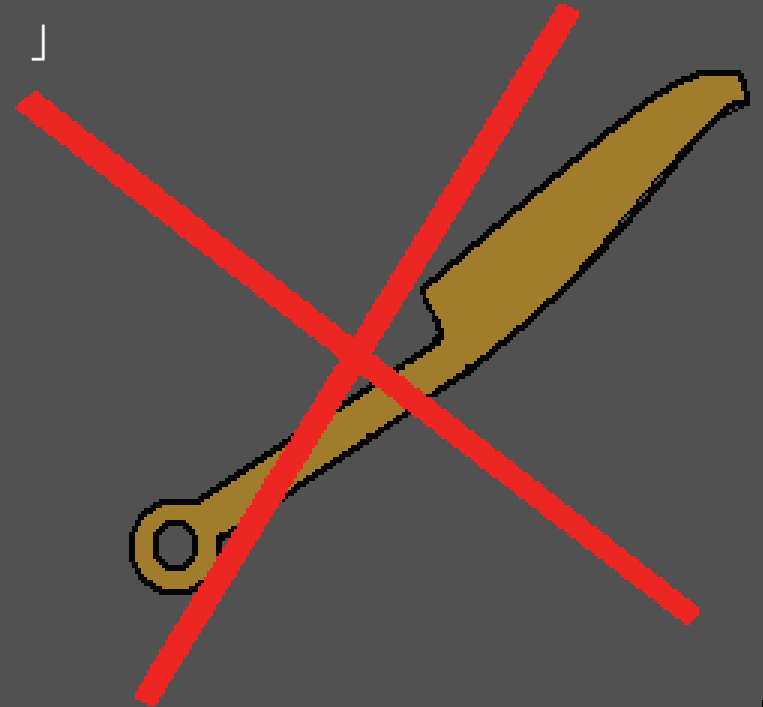


「すばらしいニュースがあるのよ。」かの女は ^{じよ} すぐに ^{おっと} 夫マノアのところへ
行^いって、このことをつたえ^きました。それを聞^いいたマノアは祈^きりました。「ああ、
わたしの主^{しゆ}よ・・・。どうぞ、私^{わたし}たちのところへ、もういちど来^きてください。
そして、おし^うえてください。生まれ^こてくる子にどんなことをすればいいのです
か。」





そこで、天使はまたあらわれてマノアにこう言いましたよ。「その子は、決してかみの毛を切ってはならない。決してお酒をのんではならない。そして決して神さまが言われたもの以外は食べてはならない。神さまは、この子をイスラエルのしどう者として、そしてわるい人をさばくものとして、えられたのです。」





このころ、^{かみ}神さまの^{たみ}民
イスラエルの人々は、ほんとうに
^{すく}

だれかに救ってもらわなければ、どう
しょうもなかったのです。なぜってかれらは
^{かみ}

もうすっかり神さまからはなれていたのですからね。

それにまた ^{てき}かれらの^{じん}敵ペリシテ人からも、いじめられていたのです。でもね、

^{かみ}かれらが^{いの}神さまにお祈りしたら、^{かみ}神さまは、ちゃんと聞いてくださいました。^き

そして、^{あか}赤ちゃんを^{かみ}くださったのです。神さまは「その子は^ここの世^よ

^{つよ}でいちばん^{ひと}強い人になるだろう。」と言われましたよ。





さて、しばらくして、マノアのお
おとこ こ う
くさんは男の子を生まれました。
こ なまえ かみ
その子の名前は、サムソン。神さ
しゆく
まは、サムソンを祝ふくしてく
おお
ださり、すくすくと大きくなりました
せい
した。また、サムソンに聖れいの
ちから つよ
力がはたらいてほんとうに強くな
なっていました。ある日のこ
なに も
と、サムソンは何も持たないで、
じぶん て つか
自分の手だけを使って、わかいラ
イオンとたたかったのです。そし
つよ
て……。なんて強いのでしょ
う。とうとうそのライオンをころ
してしまったのです。





そのあと、サム
ソンは、死んでしま
ったライオンのところ

に、たくさんのミツバチが集まっている

のを見つけました。ライオンのからだに巣を作っ
ていたのですね。ちょっとそのハチミツをなめてみる
と、まあ そのミツのおいしいこと！ そこでサムソンは、
人々になぞなぞを出しました。「食べる者から、なにか食べもの
が出た。つよいものから、なにか甘いものが出た。さあ、みんな、
これがどういう意味か わかりますか。」





だれも、その意味いみがわかる人ひとなんていません。
でも、サムソンがけっこんしたペリシテ人じん あたらの新しい
おくさんは、サムソンからこたえき だ ともを聞き出し、友だちになぞ
なぞの意味いみをおしえてしまったのです。それを知しったサムソン、
ほんとうおこに怒りましたよ。



でもね、そのあとでサムソンをもっともっと怒らせたことがあるのです。それは、ペリシテ人たちが、かつてにサムソンのおくさんを、かれの一ばんのなかよしおこの友だちいちにあげてしまったことです。サムソンは、仕返しをしようと思いましたが、でも、どうやって？
そこでまずサムソンは300匹ものキツネをつかまえました。それから、つぎつぎにキツネとキツネのしっぽをむすんでいきました

ひきよ。2匹ずつね。そして、むすんだしっぽのあいだに、火をつけたタイマツをとりつけました。サムソンは、いったいどうするつもりなのでしょね。



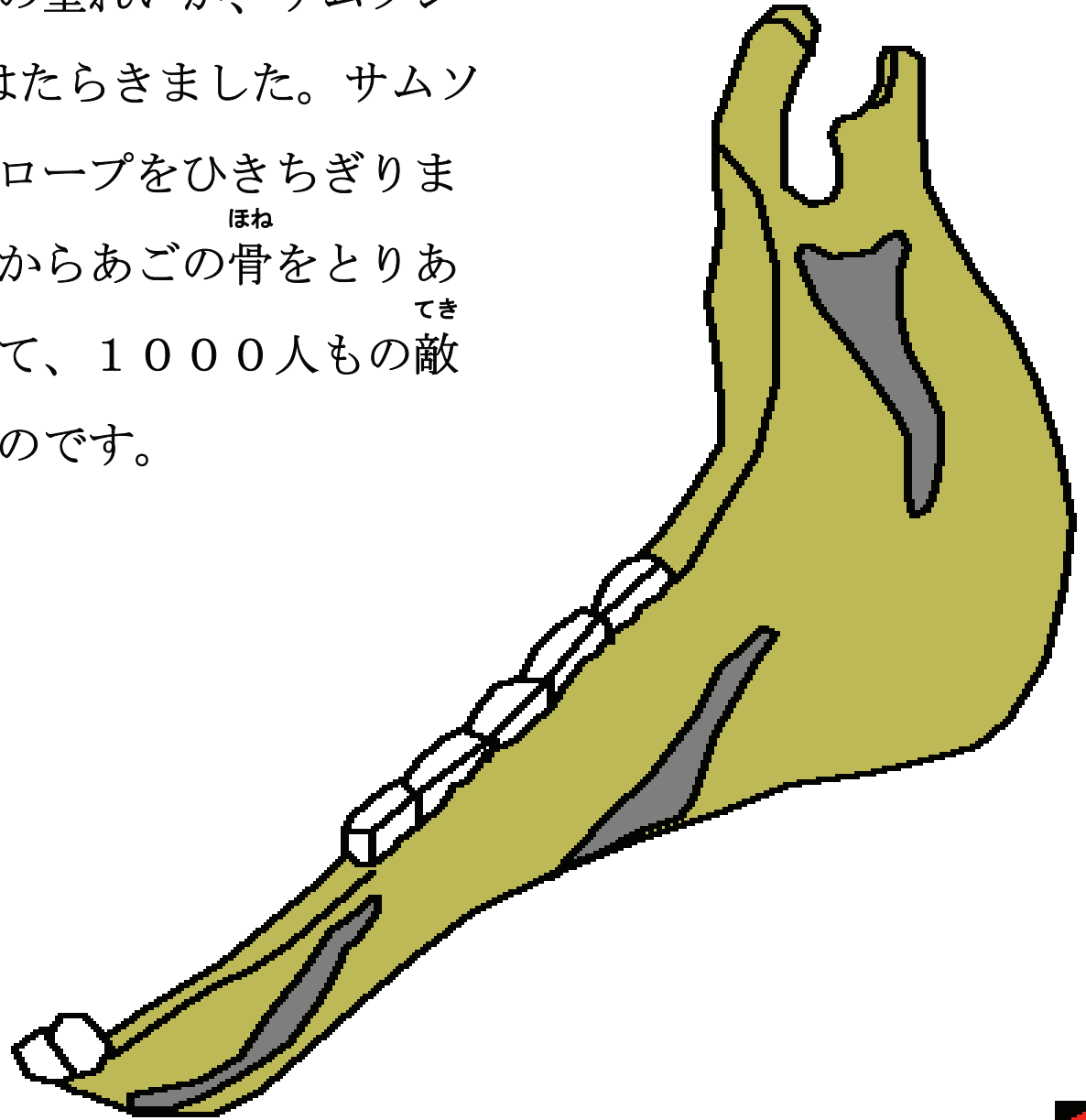
サムソンは、そのキツネたちをペリシテ人の畑に放したのでした。畑のムギも、ブドウもオリーブも、みんなまっ黒こげ。



こんどは、ペリシテ人が仕返しをする番です。でもサムソンは、自分でペリシテ
人のところへ、出て行ったのです。かれは、かれらにつかまえられ、手をしばら
れ、そしてひきわたされて殺されることがわかっていたのですけれど。



そのときです。また主しゆからの聖せいれいが、サムソンのところちからづよにきて、力強ちからづよくはたらきました。サムソンは、しばられていた手てのロープをひきちぎりましたよ。そして死しんだロバからあごほねの骨をとりあげました。その骨ほねをつかって、1000人てきもの敵を、ぜんぶ殺ころしてしまったのです。

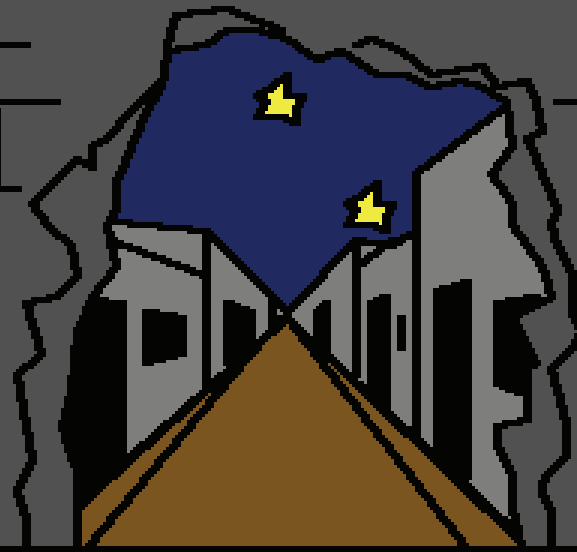


その後、ペリシテ人のなかまたちは、サムソンはいったいどこにいるんだろう
と、あちこちさがしまわりました。ある夜の^{よる}こと、サムソンが町^{まち}にいることを
知^しったかれらは、かれにわなをしかけて、つかまえようとしました。サムソンが
町^{まち}から出^でれないように、町の門^{まちもん}にカギをかけてしまったのです。ところが、サム
ソンはそんなことされても、^{へいき}平気です。そのものすごく大きな町^{おおまちもん}の門



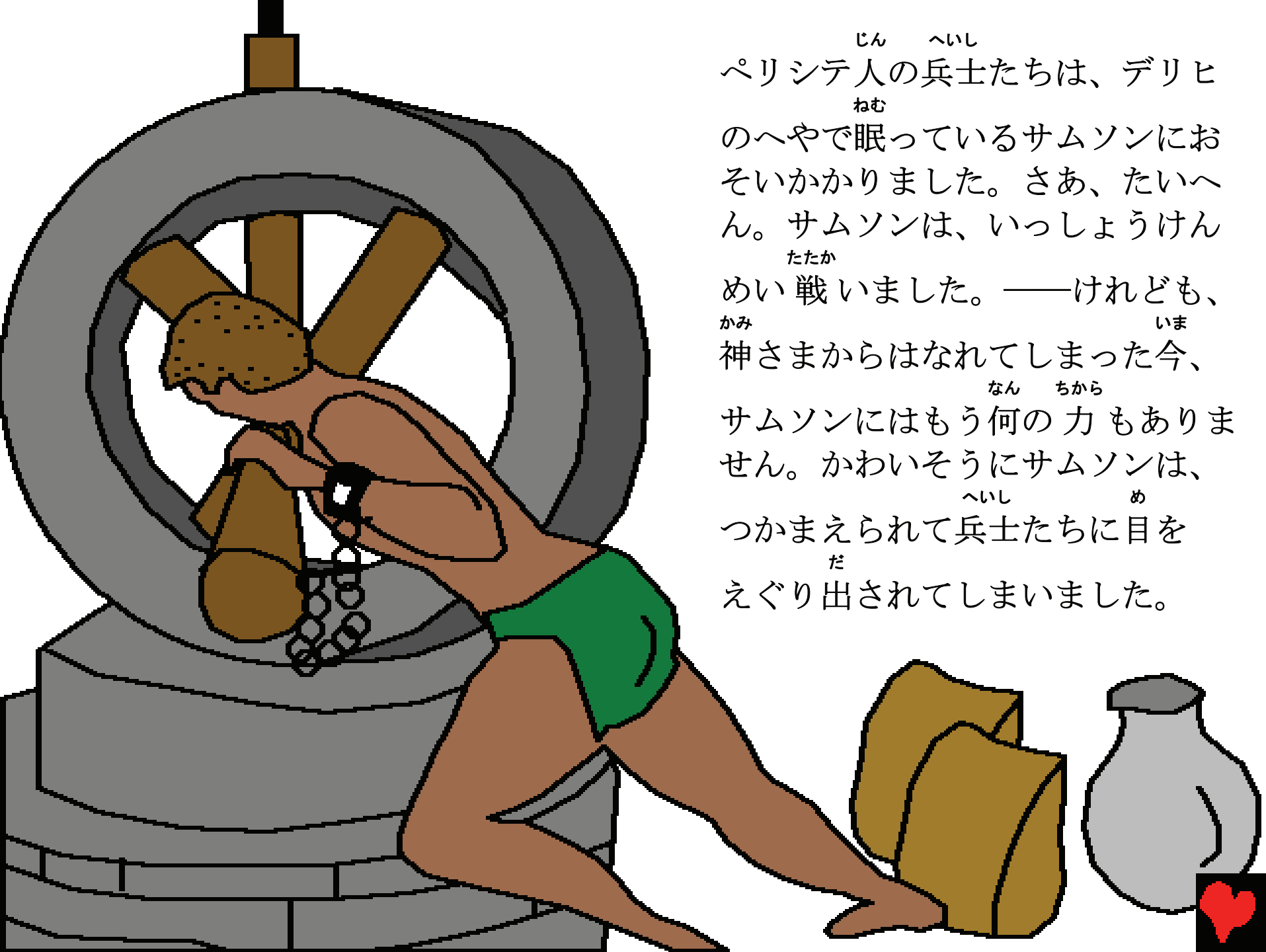
かた

をひょいと肩に
のせて、さっさと
町^{まち}から出^でていきました。



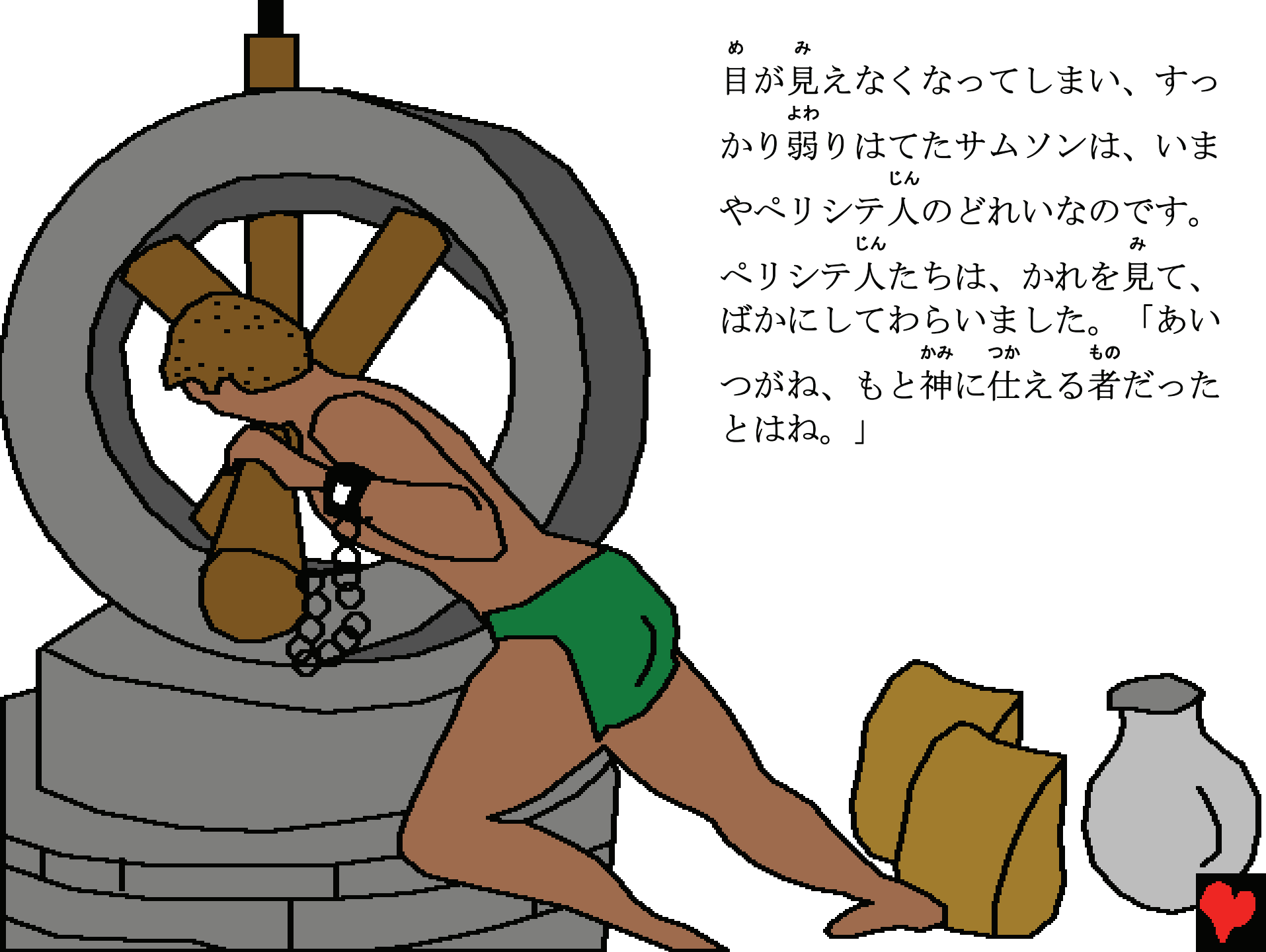
でも、ここでサムソンは、神さまのめいれいにしたがいませんでした。神さま
は、サムソンが自分にしたがついていては、力を与え、いつも助けようと
思われていたのですけれどね。ある日、サムソンは、
かれがどうしてこんなに強いのかというひみつを、
デリヒというペリシテ人のうつくしいスパイに話
してしまったのです。サムソンのひみつを聞いた
デリヒ、さっそくある人にか
れのかみの毛を切りおとすよ
うに言いましたよ。もちろん、
サムソンが眠っているう
ちにね。





じん へいし
ペリシテ人の兵士たちは、デリヒ
ねむ
のへやで眠っているサムソンにお
そいかかりました。さあ、たいへ
ん。サムソンは、いっしょうけん
たたか
めい戦いました。——けれども、
かみ
神さまからはなれてしまった今、
なん ちから
サムソンにはもう何の力もありません。
かわいそうにサムソンは、
へいし め
つかまえられて兵士たちに目を
だ
えぐり出されてしまいました。





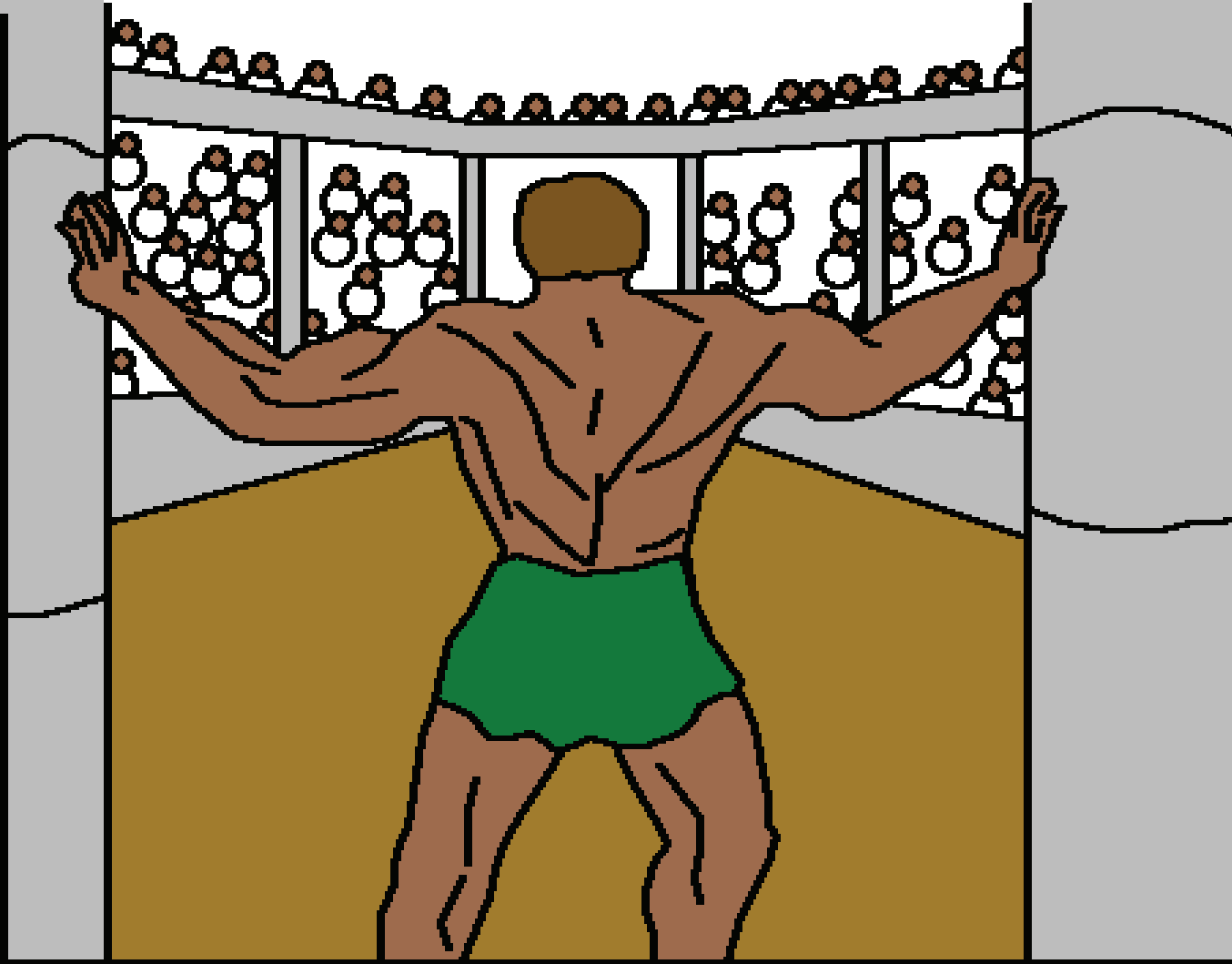
め み
目が見えなくなってい、すつ
よわ
かり弱りはてたサムソンは、いま
じん
やペリシテ人のどれいなのです。
じん み
ペリシテ人たちは、かれを見て、
ばかにしてわらいました。「あい
かみ つか もの
つがね、もと神に仕える者だった
とはね。」

じん あつ いわ
ペリシテ人たちは、みんな集まりお祝
た
いのごちそうを食べましたよ。また、
じぶん
かれらは自分たちがやっとサムソンを
つかまえることができたとよろこび、
さかな かみ
かれらの魚の神、ダゴンをあがめたた
てら
えました。そしてダゴンの寺で、お
の い
いに飲んで、よろこんでこう言いまし
た。「そうだ！サムソンをここへつれ
み
てきて、見せものにしようじゃない
か。」



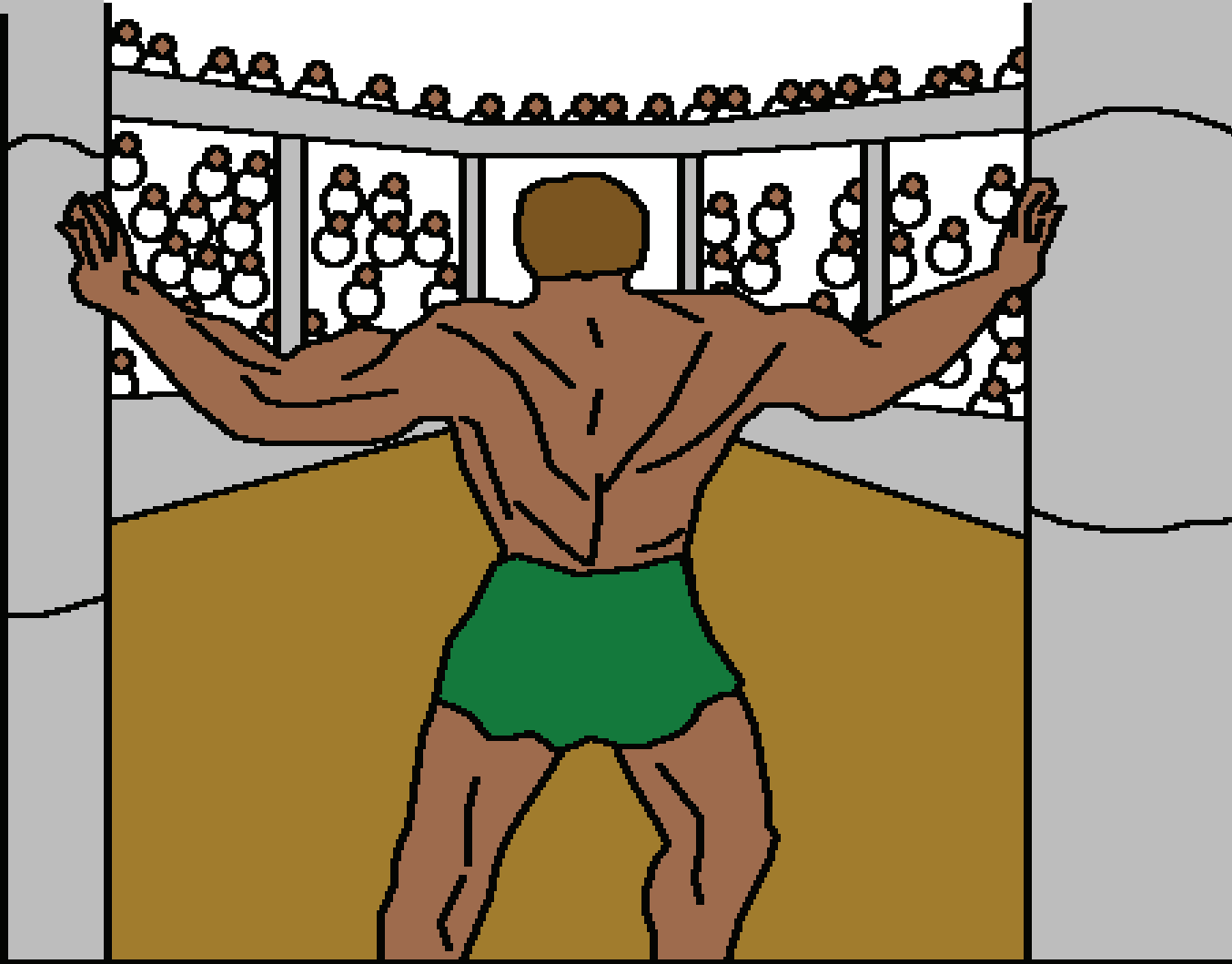
しょうねん
ひとりの少年が、サムソンをつれてきましたよ。そして、寺をささえている
はしら 柱に、サムソンをもたれさせました。その寺には、3000人ものペリシテ人
やね うえ おお ひと てら なか
が屋根の上に、そしてもっと多くの人たちが、寺の中にいました。「あいつが、

つよ
あの強いサムソン
だってよ。」こう
い
言ってみんなわらい
ました。



ところが、ろうやの中なかにいるうちに、サムソンのかみの毛けがまた伸びはじめていたのです。ここで、かれは心こころからいのりしゅしました。「ああ、主よ、いま1度だけいちどでけっこうです。どうぞ、わたしにあなたちからの力をください。わたしを、つよく

してください。かれらに、えぐりとられてしまったわたしのふた 2つの目の仕返しめがしかえできますように。」



みなさん、神さまはサムソンにもう1度、力をあたえられると思いますか。

仕返しなど、目も見えないサムソンには、できそうもないことですよ。でも、

そう、そうなのです。力いっぱい引っぱって、持ち上げて、サムソンはそのものすごく大きな柱をバラバラにしてしまった

のです。ダゴンの寺は大きい大きい

音をたてて、みるみるうちにくずれていきました。そして、

そこにいた人たちみんな、ダゴンの寺といっ

しょに死んでしまいました。

何千人ものペリシテ

人が……。そして、サムソンも……。



かみ つよ ひと
神さまがくださった強い人、サムソン

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

し しき しょう しょう
士師記 13 章 - 16 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするらな、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるらな、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにいる
ことができるのすです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーめん

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましよう！ ヨハネによる福音書3：16

